

マスターズ甲子園2018－2019シリーズ

1) 第一次募集(申請枠):2018(第15回大会)－2019(第16回大会)

第一次募集(申請枠)として、本シリーズに参加を希望する都道府県は、「予選大会登録書(全国高校野球OBクラブ連合に加盟し、年会費対象 OB 校からなる8チーム以上の大会登録が条件)」、および「チーム登録書(34歳以下が14名以上、35歳以上が15名以上、計29名以上の個別チーム登録が条件)」を、2017年10月1日より10月13日の期間で、大会事務局に送信する。両登録書を受理後、「予選大会登録書」に記載されたOBチーム数と共に、各予選大会の都道府県高校野球連盟加盟高校数に対するOBチーム数の割合を勘案した票数により(表1参照)、2017年定例総会(11月)において申請枠を希望した加盟都道府県の出席者による抽選会を行い、2018年と2019年本大会への予選大会リーグを確定する。ただし、これまでマスターズ甲子園本大会に出場していない新規の都道府県からの申請があった場合には、優先的にマスターズ甲子園2018予選大会リーグとして確定することとする。

2) 第二次募集(追加枠):2019(第16回大会)

上記の第一次募集(申請枠)において、マスターズ甲子園2019の確定出場枠が16に満たなかった場合には、第二次募集(追加枠)を行う。この場合、マスターズ甲子園2018の予選大会に確定した加盟都道府県は募集対象に含まれるが、マスターズ甲子園2019の予選大会開催が決定した予選リーグは応募できない。第二次募集(追加枠)の募集数については、2017年度の定例総会の際に告知される。第二次募集(追加枠)への応募を希望する予選リーグは、第一次枠と同様、所定の「予選大会登録書(追加枠用)」の入力フォームに必要事項を入力し、2018年の10月1日から10月12日までの期間で大会事務局に送信する。両登録書を受理後、「予選大会登録書」に記載されたOBチーム数と共に、各予選大会の都道府県高校野球連盟加盟高校数に対するOBチーム数の割合を勘案した票数により(表1参照)、2018年定例総会(11月)において追加枠を希望する加盟都道府県の出席者による抽選会を行い、追加枠上限まで予選大会リーグとして確定する。ただし、この第二次募集(追加枠)に対し、これまでマスターズ甲子園本大会に出場していない新規の都道府県からの応募があった場合には、マスターズ甲子園2019の予選大会リーグとして優先的に確定されることとする。

表1: 申請枠・追加枠の抽選会における票数基準

チーム数	票数	チーム数/高野連加盟校数	票数
8～15チーム	1票	60%以上	1票
16～23チーム	2票		
24～31チーム	3票		
32～39チーム	4票		
40チーム以上	5票		

